

第127回「建設施工研修会」開催のご案内

標記の「研修会」(工事記録映写会)を下記のとおり開催いたしますので、多数お誘い合せのうえ、当日会場へご来場下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

◎ 場 所:機械振興会館 地下3階 研修-2号会議室

◎ 日 時:平成 29年 6月 22日 (木) 13:00~17:00 (CPDS受付 12:30~)

◎ 入 場:無 料 (当日、入退場はご自由です。)

また、名刺受けを設置しておきますので、恐れ入りますが、ご名刺をお入れ下さい。

※ ご来場の折には、入り口付近にパンフレットを用意しておきますので、ご自由にお取り下さい。

(注意)CPDS発行希望者は座席指定となります。また途中退室は不可となります。

第127回「建設施工研修会」プログラム				
1	伊豆縦貫自動車道天城北道路 狩野川横断高架橋メラン材ロアリング工法 (施工記録)	H28	15分	三井住友建設(株)
2	ACモードドライブダンブトラックの紹介	H28	4分	日立建機(株)
3	自律運転ダンブトラックの紹介	H28	4分	日立建機(株)
4	高さ制限システム付油圧ショベル、ZX-URシリーズの紹介	H28	4分	日立建機(株)
5	i-Construction 対応油圧ショベルの紹介	H28	8分	日立建機(株)
6	パワーブレンダー工法	H26	4分	日特建設(株)
7	コンクリート構造物表面の自動研掃システム	H27	3分	(株)奥村組
8	オフロード法2014年規制対応 新型マグネットシステム搭載機『eマグ』	H28	7分	コベルコ建機(株)
9	MYミキサを用いたCSG工法による 防潮堤の建設	H27	10分	前田建設工業(株)
10	ペイロードオペレータインターフェイス	H27	3分	日本キャタピラー(合)
11	インテリジェントコンパクション	H27	3分	日本キャタピラー(合)
12	砂圧入式静的締固め工法 「SAVE-SP(セーブエスピー)工法」	H28	11分	(株)不動テトラ
13	地盤改良を可視化する新施工管理システム 『Visios-3D@(ビジオス・スリーディー)』	H28	5分	(株)不動テトラ
14	Asphalt Recycling System 甞る舗装廃材	H28	9分	(株)NIPPO
15	OL-22海底配管増設工事	H25	22分	大成建設(株)
16	『RASコラム工法 震災復旧に伴う 住宅基礎の地盤改良事例』	H26	5分	ライト工業(株)
17	『エコクレイウォール工法 無排泥粘土遮水壁工法 一級河川からの漏水対策に適用した施工事例』	H27	7分	ライト工業(株)
18	『水とのたたかい ソレタンシュ地盤改良工法 ー上越新幹線中山トンネル高山立坑工事ー』	S50	27分	ライト工業(株)
19	熊本城 緊急対策工事	H28	7分	(株)大林組
20	阿蘇無人化施工(仮称)(現在製作中)	H29	15分	(株)熊谷組

※CPDS登録の為の受講証明書の発行を希望の方は、別紙様式で**事前申請**願います。

受講証明書は、後日送付いたします。

一般社団法人 日本建設機械施工協会 業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

TEL:03-3433-1501 FAX:03-3432-0289

記録映像の概要

1	狩野川横断高架橋は、天城北道路の南端、天城湯ヶ島IC付近の一級河川。 狩野川を渡河する箇所に位置する「RC上路式アーチ橋」です。 本橋では、メラン材をロアリング工法にて架設し、その後、コンクリートを巻き立ててアーチリブを作る「メラン材ロアリング工法」を採用しました。本映像は、メラン材ロアリング施工の記録映像です。
2	(英語) ACモータやサスペンションシリンダを制御し、安全や乗り心地改善を実現する独自技術の紹介
3	(英語) ダンプトラックの自律運転技術の紹介
4	(日本語) 高さ制限システム付油圧ショベル、ZX-URシリーズの紹介
5	(日本語) i-Construction対応油圧ショベル、ZX200X-5Bの紹介
6	パワーブレンダー工法の紹介
7	コンクリート構造物のリニューアル(耐震補強)に向けてコンクリートの表面を研掃するのに従来は手作業で行っていたものを機械を用いて自動で研掃するシステムを開発した。
8	オフロード法2014年規制対応をした新型マグネットハンドリング機の紹介。発電機電動機をエンジンに直結させることにより、従前マグネット使用に必要であった油圧モーター／制御盤等の機能を排除した新型システムを搭載したコベルコ独自の商品を紹介。
9	浜松市で施工している防潮堤築造工事において採用された、MYミキサを用いたCSG製造技術。 およびCM業務について
10	過積載を防ぎ、正確な作業量をトラッキングできる、メーカ純正の計量機能をホイールローダだけでなく、油圧ショベル、オフロードダンプトラックに搭載した技術情報
11	CAT独自の締め固め状態確認ツールであるMDPを使って、地中に埋まっているタイヤの場所を探し当てる
12	SAVE-SP工法は、ポンプ圧送可能な状態にした砂をロッドを通じて地中に圧入することで、地盤を締め固める液状化対策工法です。100m以上の圧送が可能なため、プラント設備を離れた場所に設置できること、傾斜施工も可能な超小型の施工機械を使用すること、無振動・低騒音工法であることから、狭隘地や既設構造物直下の液状化対策が可能です。
13	「Visios-3D®」(ビジオス・スリーディー)は、地盤改良の施工状況を『見える化』する新しい施工管理システムです。施工中にオペレータが確認する施工支援画面に、地盤内の施工状況が視覚的にアニメーション表示され、直感的に状況が把握できます。施工支援画面と同じ情報をタブレット端末等で見ることができ、現場内にいる複数のスタッフにより施工状況を共有、確認できます。また、施工記録は、国土交通省が推進するCIMに適用した3次元モデルに図化され、現場全体を視覚的に評価できます。
14	アスファルト再生合材の製造過程を紹介する
15	海底曳航法による海底配管増設工事の施工記録
16	東日本大震災からの震災復旧工事として、宮城県亘理郡山元町に新設した新坂元駅周辺市街地造成工事で採用された現場の紹介。当現場は宅地の基礎と新坂元駅周辺家屋・国道への影響防止として、敷地外周の軟弱地盤改良を深層混合処理工法の相対攪拌式機械攪拌工法であるRASコラム工法にて施工した。
17	愛知県豊田市周辺で平成12年9月に発生した東海豪雨に伴い、1級河川矢作川の漏水対策として国土交通省中部地方整備局は洪水被害の防止・軽減目的に堤防の漏水対策(パイピング防止のための遮水壁工事)を計画した。当初は従来手法の鋼矢板やセメントを使用した遮水壁工法が検討されたが、最終的に排泥が発生せず且つ環境にやさしい粘土壁が造成できる『エコクレイウォール工法』が施工承認で採用された。一級河川からの漏水対策としては初めての事例である。
18	上越新幹線中山トンネル(14.8km)を施工する為に、先に施工した立坑工事内容の記録映画。当該現場は大量の被圧水抑制が最大の課題だった。水を止めるために現場で様々な智慧を出し合い完成するまでの「水とのたたかい」に対し『ソレタンシュ地盤改良工法』で挑んだ現場の施工事例紹介。
19	熊本地震で被害を受けた熊本城の復旧にあたり。最初に行われた「飯田丸五階櫓倒壊防止緊急対策工事」
20	2016年4月16日の熊本地震により発生した阿蘇大橋付近西側斜面の大規模な斜面崩壊があり、その斜面上部に残る安定土砂の崩壊による二次災害を防ぐ緊急的な対策工事を無人化施工で行った施工記録